

○小沢代表問題の整理に向けて

小沢代表の問題には、心を痛めています。

直ちに辞任すべきだという声が、多くの国民から寄せられ、そのことは充分理解できているつもりです。しかし、私は、もうしばらくこの成り行きを見ていきたいと思っています。小沢代表が辞めるときは、自らの判断で決断すべきです。そして、いずれにしても、挙党一致で戦う。皆の協力がなければ政権交代など実現できません。

今回の小沢代表の問題では、これまで暗黙のうちに認められてきた、〇〇研究会、△△政治連盟や□□協会などからの献金を含む政治資金の流れ、とくに、これまでは法的には大丈夫だろうとされてきたこの範疇が、「だめだ。」となったわけです。小沢さんに限って突然認められないとした根拠は何か、検察にはこの点の説明責任があります。しかし、法的に許されてきたことだから、といて、政権交代を目指す党の代表が、国民が納得のいく説明をすることができない、そしてそのことが党への信頼を失し、党の結束を乱すということであれば、代表の職責を果たしているとはいえません。

現在、民主党は、今回の問題も含め、政治に関わるお金の流れを透明にし、不明瞭なお金の入り方・使い方を改善していくため、企業献金の廃止をマニフェストに盛り込み法改正も視野に入れた作業をすすめています。

政治が、本来の政策論争以外のことで左右されないためにも、政治資金の改革を初め、これまで「あたりまえ」とされていた様々な仕組みを変えていかなければならないと思っています。

○政府の経済対策は借金が残るだけ

麻生総理の緊急経済対策が発表されて、27日には関連の補正予算が国会に上程されます。15.4兆円の規模になると言います。結果、今年度の予算全体の半分以上が国の借金で賄われます。大変なことです。

整備新幹線や高速道路などの公共事業に加えて、例えば、古い車を低燃費のハイブリッドや環境対応車に買い替えれば減税とあわせて40万円くらいの補助金が出る。太陽光発電設置の半分ほどが補助金で援助される。3歳から5歳までの子どもに一人一年限り3万6千円の子ども手当、介護士の人件費のアップなどなど、盛りだくさんの補助金を一挙にならべて各省庁が張り切っています。

ただし、すべてがたったの一年限りで、その後はいったいどうするのか説明がありません。このままだと、一時的な鎮痛剤効果にでもなればと言う程度で景気回復の根本治療には程遠いと、多くの専門家は厳しく批判しています。さらに、今年の税収が大きく減少することから、財政赤字は予想以上に広がり、この経済対策の財源とあわせると、莫大な借金を残すこととなります。

私たち民主党は、こんな莫大な借金は必要ないと主張しています。税金の無駄使いを徹底的に暴きだせば、そこから財源を見出すことができるのです。同時に、新しい投資は、一年ポッキリではなく、将来のこの国の構造改革を誘導して恒常的な政策とすること。さらに、個人の家計に直接届くお金で生活の基盤を安定させ、安心感と将来の生活設計ができ、それが経済の元気に結びついていくことが必要だと言っています。だから、例えば、子ども手当については、政府の言う一年限り3万6千円ではただのバラマキです。私たちが主張するように、一人月々2万6千円、0歳児から中学卒業するまで、毎月支給とすることで、初めて本格的な少子化対策になります。農業なども、これまで土建屋さんや機械屋さんについていた3兆円の補助金のうち、1兆円だけでも農家への直接所得保障とすれば、農業の採算があってくる。食料自給率を80%以上に持っていく気迫と共に後継者や雇用を創出する農業を本気で作ろうと言っています。

○春の園遊会で忙中閑あり

毎年、この季節になると、今年、いろいろな分野で大活躍した人々と一緒に、赤坂御苑の園遊会に招待されます。

新緑に覆われた庭園には、もう、モンシロチョウの姿まで観察できるほど、今日は、暑く、晴れ渡っていました。宮様方は、陛下を先頭に、取り囲む招待客の一人ひとりと言葉を交しながら中央の池の周りを一周されます。所要、2時間。私の場合は、「ご結婚、50周年、おめでとうございます。」「ありがとう・・・。」ただ、これだけで、次の言葉が出てこないのです。しかし、一人ひとりとしっかり視線を合わせて、ごあいさつされる陛下は、存在感があります。私の隣にいたインドネシア大使なども、ごく自然にきれいな英語で話しかけられ、心から、感動していました。